

■第1会場（3階234教室） シンポジウム（15：20～16：50）

テーマ「住み慣れた街で自分らしく生きる –地域包括ケアシステムと専門職教育のあり方–」

座長：菊池 みほ（日本福祉教育専門学校）、中山 剛志（日本福祉教育専門学校）

| 演題名 | 発表者 | 所属 | 頁 |
|---|---------------------------------------|------------------------------|----|
| 地域包括ケアと作業療法士・理学療法士教育について | ○有本邦洋 ¹ | 日本リハビリテーション専門学校 ¹ | 13 |
| 地域包括ケアシステムと増え続ける理学療法士 | ○小田嶋裕之 ¹ | 臨床福祉専門学校 理学療法学科 ¹ | 14 |
| 柔道整復師の地域社会貢献 | ○小池龍太郎 ¹ 奥田久幸 ¹ | 日本医学柔整鍼灸専門学校 ¹ | 15 |
| 保育士養成の現状と展望 | ○今井大二郎 ¹ | 日本児童教育専門学校 ¹ | 16 |
| 地域包括ケアシステムにおける、多職種連携・多職種協働のための専門職教育について | ○秋山雅代 ¹ | 日本福祉教育専門学校 ¹ | 17 |

■第1会場（3階234教室） フォーラム（10：10～12：10）

テーマ「保険、医療、福祉分野における人材育成 –地域・産学との連携を中心として–」

司会：東 康祐（日本福祉教育専門学校）

| 演題名 | 発表者 | 所属 | 頁 |
|---|---|------------------------------------|----|
| 多分化ソーシャルワーク教育の必要性 –社会福祉士・介護福祉士養成教育を通して– | ○金井直子 ¹ （教員）、谷澤勇氣 ¹ （3年生） | ¹ 日本福祉教育専門学校 ソーシャル・ケア学科 | 21 |
| 臨床実習実践報告 ～生活行為向上マネジメント（MTDLP）を用いて～ | ○大西健太郎 ¹ | ¹ 高齢者在宅サービスセンター西新井 | 22 |
| 学生主体の認知症サポーター養成講座 | ○浜田智哉 ¹ ・阿部裕実 ¹ ・水尻康仁 ¹ ・黒川容輔 ¹ | ¹ 臨床福祉専門学校 言語聴覚療法学科 | 23 |
| 「働きながら学ぶ」ことの意義と課題 ～学校と現場の連携をどう図るか～ | ○阿久津 撰 ¹ | ¹ 日本児童教育専門学校 副校長 | 24 |
| 卒後研修と地域医療 | ○青木春美 ¹ | ¹ 日本医学柔整鍼灸専門学校 鍼灸学科 | 25 |

■第2会場（4階 245教室）分科会Ⅰ（13：10～14：10）

福祉分野1（介護福祉士・社会福祉士・精神保健福祉士・音楽療法士・手話通訳士）

座長：金井 直子（日本福祉教育専門学校）

| 演題名 | 発表者 | 所属 | 頁 |
|---|---|---|----|
| 特別養護老人ホームにおける認知症高齢者に対する防災訓練について | ○鈴木貴文 ¹ ・内野滋雄 ¹ | ¹ 社会福祉法人 三徳会 | 29 |
| パークで筋トレにおけるコーディネーション運動の効果について | ○高見美恵子 ¹ ・東根明人 ¹ ・大羽瑠美子 ¹ ・市川友紀子 ¹ ・鈴木有喜 ¹ ・鈴木久仁子 ¹ | ¹ 一般社団法人コーチングバリュー協会 | 30 |
| 認知症対応型デイサービスでの集団音楽療法 - 左麻痺のY氏に対するアプローチ - | ○上田将来 ^{1,2,3} | ¹ 株式会社 Leaf 音楽療法センター、 ² 社会福祉法人フロンティア 松が丘高齢者在宅サービスセンター、 ³ 医療法人社団東華会 介護老人保健施設たかつ | 31 |

■第2会場（4階 245教室）分科会Ⅱ（14：15～15：15）

福祉分野1（介護福祉士・社会福祉士・精神保健福祉士・音楽療法士・手話通訳士）

座長：荻原 康一（日本福祉教育専門学校）

| 演題名 | 発表者 | 所属 | 頁 |
|---|---|--|----|
| 目と手の協応を促し外界への意識を育んだ音楽療法 ～脳性麻痺Bさんの変化～ | ○小山朝美 ¹ | ¹ 日本福祉教育専門学校社会福祉学科音楽療法コース卒業生・障害者支援施設勤務 | 35 |
| ALSの利用者の介護を通じて見えてきた「自分らしい生き方」 「こうしてほしい」と訴える力 | ○坂本敦美 ¹ ・宮里裕子 ² ・北谷好美 | ¹ 社会福祉法人 三徳会・日本福祉教育専門学校 ² 日本福祉教育専門学校通信教育部 | 36 |
| サービス等利用計画の実際と課題について ～精神障害者のケアマネジメントの実践を通して～ | ○行成裕一郎 ¹ ・松尾裕子 ² | ¹ 日本福祉教育専門学校精神保健福祉士養成学科・ ² 地域活動支援センターエナジーハウス | 37 |

■第3会場（4階 243教室）分科会Ⅰ（13：10～14：10）

福祉分野2（保育士・幼稚園教諭）

座長：中西 和子

| 演題名 | 発表者 | 所属 | 頁 |
|--|---|---|----|
| 保育士養成課程科目「保育課程論」における「保育課程」に対する認識 - 「保育計画」から「保育課程」への転換はいかに捉えられているか - | ○安部高太朗 ¹ ・吉田直哉 ² | ¹ 日本児童教育専門学校総合子ども学科、 ² 神戸松蔭女子学院大学 | 41 |
| コーディネーション運動を通じたコーチングによる子どもの自立に向けた変化 | ○大羽瑠美子 ¹ ・東根明人 ¹ ・遠藤享子 ² ・金井彩 ² ・二葉芽依 ² ・菰田万智 ² | ¹ 一般社団法人コーチングバリュー協会、 ² クレーナーサリー千住大橋 | 42 |
| 学生の主体的な学びをどのようにして発動させるのか - 「ゼミ」という科目を通しての試み - | ○東郷結香 ¹ | ¹ 日本児童教育専門学校児童教育科・保育福祉科 | 43 |

■第3会場（4階 243教室）分科会Ⅱ（14：15～15：15）

福祉分野2（保育士・幼稚園教諭）

座長：中西 和子

| 演題名 | 発表者 | 所属 | 頁 |
|---|---|---|----|
| コーディネーション運動による幼児期の能力向上について | ○早川千聖 ¹ ・大羽瑠美子 ¹ ・高見美恵子 ¹ ・東根明人 ¹ | ¹ 一般社団法人コーチングバリュー協会 | 47 |
| コーディネーション運動と社会性および脳活性の相互関係 | ○東根明人 ¹ ・大羽瑠美子 ¹ ・伊藤憲治 ² ・桐野衛二 ³ | ¹ コーチングバリュー協会、 ² 東京医療センター、 ³ 順天堂大学 | 48 |
| 保育者養成校における子育て支援についての検討Ⅰ －小笠原村子育てセミナーに着目して－ | ○渡邊真理 ¹ | ¹ 日本児童教育専門学校 総合子ども学科 | 49 |

■第4会場（4階 244教室）分科会Ⅰ（13：10～14：10）

医療分野1（理学療法士・作業療法士）

座長：河邊 宗和

| 演題名 | 発表者 | 所属 | 頁 |
|--|--|---|----|
| 加速度計を用いた通所系施設利用者の身体活動と身体機能の関連 | ○重國宏次 ¹ | ¹ 日本リハビリテーション専門学校 理学療法学科 | 53 |
| 専門職連携に必要な行動特性 －「他職種と協働するための実践力」と「連携を促進する実践力」との関係－ | ○塩澤和人 ¹ 、大部令絵 ² 、田口孝行 ³ | ¹ 日本リハビリテーション専門学校 理学療法学科、 ² 埼玉県立大学保健医療福祉学部大学間連携共同教育推進事業担当 ³ 埼玉県立大学保健医療福祉学部理学療法学科 | 54 |
| 発達障害をもつ青年に対する、就労支援事業におけるレジリエンス評価の有用性について | ○助川文子 ¹ | ¹ 日本リハビリテーション専門学校 理学療法学科 | 55 |

■第4会場（4階 244教室）分科会Ⅱ（14：15～15：15）

医療分野1（理学療法士・作業療法士）

座長：河邊 宗和

| 演題名 | 発表者 | 所属 | 頁 |
|---|--|-------------------------------------|----|
| 障害者の方を招いて生活背景のマップ化 作業療法士として関わるべき視点を知るために | ○五十嵐千代子 ¹ | ¹ 日本リハビリテーション専門学校 作業療法学科 | 59 |
| 大泉リハネットにおける地域包括ケアシステムへの取り組み ～リハネット発足から現在までの活動報告～ | ○山下高介 ¹ | ¹ 陽和病院・大泉リハネット世話人会 | 60 |
| 精神障害領域における模擬患者を活用した評価演習 第2報 | ○深瀬勝久 ¹ ・西澤正明 ¹ ・河邊宗知 ¹ | ¹ 日本リハビリテーション専門学校 作業療法学科 | 61 |

■第5会場（4階 241教室）分科会Ⅰ（13：10～14：10）

医療分野2（言語聴覚士）

座長：馬目 雪枝（臨床福祉専門学校）

| 演題名 | 発表者 | 所属 | 頁 |
|---|--|---|----|
| 地域の特性に特化した入院時摂食嚥下アセスメントの作成 －予備研究：誤嚥性肺炎入院した高齢認知症患者の嚥下障害の予後－ | ○川村美夕紀 ¹ ・浜田智哉 ² | ¹ 板橋中央総合病院・ ² 臨床福祉専門学校 言語聴覚療法学科 | 65 |
| 失語症者の保続症状に対する訓練効果 －Treatment of Aphasic Perseveration－ | ○佐藤果南 ¹ ・今井友城 ¹ ・浜田智哉 ^{1,2} | ¹ 横浜新都市脳神経外科病院・ ² 臨床福祉専門学校 言語聴覚療法学科 | 66 |

■第5会場（4階 241教室）分科会Ⅱ（14：15～15：15）

医療分野2（言語聴覚士）

座長：馬目 雪枝（臨床福祉専門学校）

| 演題名 | 発表者 | 所属 | 頁 |
|--|---|---|----|
| 気管切開者の嚥下動態とカフ圧との関係 －サブタイトル動作解析ソフト kinovea を用いて－ | ○眞壁弘樹 ¹ ・下竹佳代子 ¹ ・浜田智哉 ^{1,2} | ¹ 横浜新都市脳神経外科病院・ ² 臨床福祉専門学校 言語聴覚療法学科 | 69 |
| 低酸素脳症の嚥下訓練 －一部経口摂取に至った一例－ | ○益子紗緒里 ¹ ・岩村晃秀 ² | ¹ IMSグループ行徳総合病院リハビリテーションセンター・ ² 同神経内科 | 70 |

■第6会場（3階 231教室）分科会Ⅰ（13：10～14：10）

医療分野3（柔道整復師・鍼灸師）

座長：渡邊 靖弘（日本医学柔整鍼灸専門学校）

| 演題名 | 発表者 | 所属 | 頁 |
|-----------------------------------|--------------------|----------------------------------|----|
| 敬心鍼灸院過去6年間状況に関する実態調査 | ○青木春美 ¹ | ¹ 日本医学柔整鍼灸専門学校 鍼灸学科 | 73 |
| 画像資料にみる施灸の風景 －被施術者の体位・肢位に着目して－ | ○天野陽介 ¹ | ¹ 日本医学柔整鍼灸専門学校 鍼灸学科 | 74 |
| ダイナミックストレッチとスタティックストレッチが筋機能に与える影響 | ○木下美聡 ¹ | ¹ 日本医学柔整鍼灸専門学校 柔道整復学科 | 75 |

■第6会場（3階 231教室）分科会Ⅱ（14：15～15：15）

医療分野3（柔道整復師・鍼灸師）

座長：木下 美聡（日本医学柔整鍼灸専門学校）

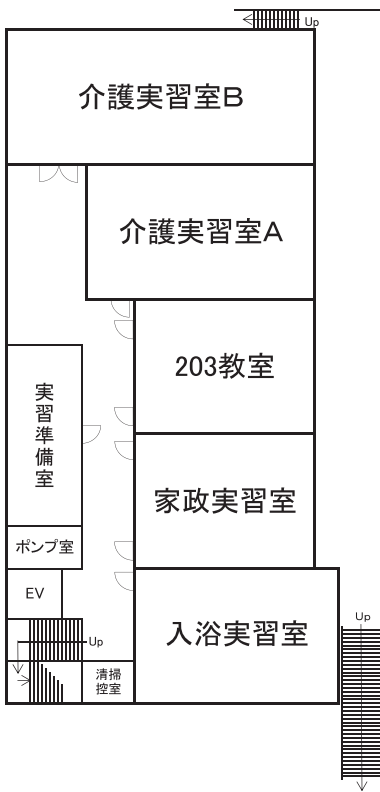
| 演題名 | 発表者 | 所属 | 頁 |
|---|--|--|----|
| 旧千葉県血清研究所敷地内「赤レンガ建築」見学会に参加して －建物の保存・再生・活用を考える－ | ○浮谷英邦 ¹ | ¹ 日本医学柔整鍼灸専門学校 柔道整復学科 | 79 |
| 柔道整復師養成校に対する多視点3D解剖教育システム導入の有用性の検証 | ○町田志樹 ¹ ・石垣栄司 ¹ ・中島嘉和 ² | ¹ 臨床福祉専門学校 理学療法学科・ ² 臨床福祉専門学校 柔道整復学科 | 80 |
| 講道館柔道「極の形」における天神真楊流柔術の意義 －武術的、医学的検討から | ○湯浅有希子 ¹ | ¹ 日本医学柔整鍼灸専門学校 柔道整復学科 | 81 |

■第7会場（3階 233教室）ポスター発表（12：10～13：00）

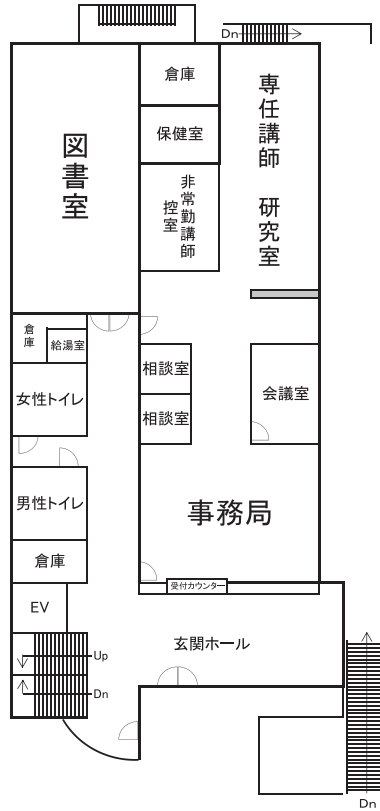
| 演題名 | 発表者 | 所属 | 頁 |
|--|--------------------------------------|--|----|
| 介護未経験新人への1年間指導の考察 －「私の成長記録～新任職員版～」を活用して－ | ○杉山隆一 ¹ | ¹ 社会福祉法人東京雄心会 指定介護老人福祉施設 こぐれの杜 | 85 |
| 精神保健福祉実習における「分散型実習」 の実際 －集中と分散の違いとは何か－ | ○寺澤美彦 ¹ 森山拓也 ² | ¹ 日本福祉教育専門学校 精神保健福祉士養成科・ ² 日本福祉教育専門学校 精神保健福祉士養成学科 | 86 |
| パズルで楽しく過ごそう －認知症予防のための手作りパズル実践 － | ○細田和幸 ¹ | ¹ 日本福祉教育専門学校 介護福祉学科 学生 | 87 |
| 児童発達支援センターで学んだこと ～子どもたちとの関わりの中で考えたこ と～ | ○原すみれ ¹ | ¹ 日本児童教育専門学校 総合子ども学科 学生 | 88 |
| 保育所実習で学んだこと ～部分実習の実践～ | ○百瀬綾乃 ¹ | ¹ 日本児童教育専門学校 総合子ども学科 学生 | 89 |
| ICTを活用した授業の試み －ペーパー会議システムの導入について － | ○井口佳晴 ¹ | ¹ 日本リハビリテーション 専門学校 作業療法学科 | 90 |
| 一般就労を目指す！発達障害をもつメン バーの就労支援 | ○助川文子 ¹ | ¹ 日本リハビリテーション 専門学校 理学療法学科 | 91 |
| 発話が困難な自閉症スペクトラム児のコ ミュニケーション手段の変遷 －言語相談室での8年間の実践報告－ | ○高畑菜実子 ¹ | ¹ 日本福祉教育専門学校 言語聴覚療法学科 | 92 |
| 本学の臨床実習における学生の取り組み と効果 －臨床実習後アンケート調査の検討－ | ○川崎有子 ¹ | ¹ 臨床福祉専門学校附属 臨床敬心接骨院 | 93 |
| 国家試験対策におけるチーム学習の効果 －試験対策にアクティブラーニング形式 は活用出来るか－ | ○三村聡 ¹ | ¹ 日本医学柔整鍼灸専門学 校 鍼灸学科 | 94 |

会場案内図

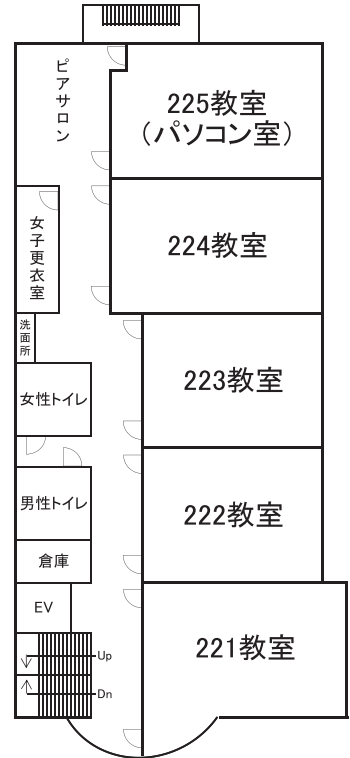
地下1階



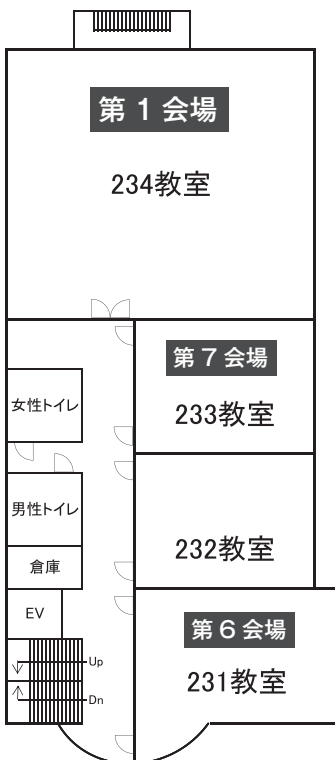
1階



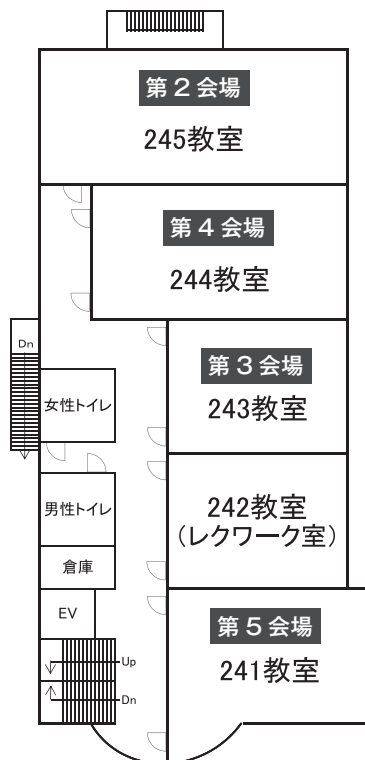
2階



3階



4階



屋上

